

第1回 『堤中納言物語』

次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

下わたりには、品いやしからぬ人の、事もかなはぬ人をにくからず思ひて、年ごろ経るほどに、親しき人のもとへ行き通ひけるほどに、むすめを思ひかけて、みそかに通ひありきけり。めづらしければにや、はじめの人よりは志深くおぼえて、人目もつつまづ通ひければ、親聞きつけて、「年ごろの人を持ちたまへれども、いかがはせむ」とて、許して住ます。もとの人聞きて、「今は限りなめり。通はせてなども、よもあらせじ」と思ひ渡る。「行くべきところもがな。つらくなりはてぬさきに、離れなむ」と思ふ。されど、さるべきところもなし。

今の人の親などは、おし立ちて言ふやう、「妻などもなき人の、せちに言ひしに婚すべきものを。かく本意にもあらで、おはしそめてしをくちをしけれど、いふかひなければ、かくてあらせたてまつるを、世の人々は、『妻すゑたまへる人』を。思ふと、さ言ふとも、家にすゑたる人こそ、やごとなく思ふにあらめ』など言ふも安からず。げにさることに侍る」など言ひければ、男、「人数にこそ侍らねど、志ばかりは、まさる人侍らじと思ふ。かしこには渡したてまつらぬを、おろかに思さば、ただ今も渡したてまつらむ。いと異やうになむ侍る」と言へば、親、しけれども、今のがやごとなければ、かくなど言ひて、けしきも見むと思ひて、もとの人のがり往ぬ。

語句

いやし「卑し・賤し」(形) ①身分や地位が低い ②下品だ

③みすばらしい ④けちだ・卑劣である

かなふ「適ふ・叶ふ」(自動) ①適合する ②思いどおりになる

③(弱く下に否定表現を伴う) ④匹敵する ⑤できる

ほど「程」(名) 程度・あらかゆる事物の程度や範囲

みそかなり「密かなり」(形動) ひそかにするさま。こっそり

ありく「歩く」(動) 移動する・歩く

めづらし「珍し」(形) へ「変づ」に対応する (形) ①すばらしい

②愛らしい ③目新しい ④めずらしい

こころざし「志」(名) ①心を向けること・意向・注意

②誠意・愛情 ③贈り物 ④供養

つつむ「慎む」(他動) 気がぬする・遠慮する

わたる「渡る」(動) へ空間・時間をこえ ①他に及ぶ意

過ぐる・移る・通る

おしたつ「押し立つ」(動) ①立ちはだから ②我を張る・むりにする

せちなり「切なり」(形動) 切実だ・一途だ

いそむ「初む」(接尾) (動詞の連用形に付く)

くしはじめる・はじめようする

やごとなし(形)「やんごとなし」の撥音「ん」の表記

すれない形

やまごとなし「止む事無し」(形) ①格別だ

②身分が高い・尊い

やすし「安し」(形) ①安らかである ②安っぽい

③安い

ひとかず「人数」(名) ①人の数

②人並みな者として数えられること

かしこ「彼処」(代) ①遠称の指示代名詞

②他称の人代名詞。あちらの方

おろかなり「疎かなり」(形動) いいかげんだ

不十分だ